

平成 27 年 12 月 31 日

統計トピックスNo. 91

さる  
「申年生まれ」と「新成人」の人口

— 平成28年 新年にちなんで —

(「人口推計」から)

さる  
申年生まれは991万人

新成人は121万人

総務省統計局では、新年を迎えるに当たり、平成28年1月1日現在における「<sup>さる</sup>申年生まれ」の人口と「新成人」の人口を推計しました。

要 約

I <sup>さる</sup>申年生まれの人口は991万人

- 男性は480万人，女性は512万人
- 昭和43年生まれが最も多い
- 十二支の中では11番目

II 新成人人口は121万人

- 新成人人口は121万人で前年比5万人減  
男性は62万人，女性は59万人
- 新成人人口は再び減少に

# I <sup>さる</sup> 申年生まれの人口は991万人

**男性は480万人，女性は512万人**

平成28年1月1日現在における<sup>さる</sup>申年生まれの人口は991万人で、総人口1億2683万人に占める割合は7.8%となっています。

男女別にみると、男性は480万人、女性は512万人で、女性が男性より32万人多くなっています。 (表1，表2)

**昭和43年生まれが最も多い**

<sup>さる</sup>申年生まれの人口を出生年別にみると、昭和43年生まれ（平成28年に48歳になる人）が182万人と最も多く、次いで昭和19年生まれ（同72歳になる人）が159万人、昭和55年生まれ（同36歳になる人）が154万人、昭和31年生まれ（同60歳になる人）が152万人、平成4年生まれ（同24歳になる人）が124万人、平成16年生まれ（同12歳になる人）が110万人などとなっています。 (表2，図2)

**十二支の中では11番目**

総人口を十二支別にみると、<sup>うし</sup>丑年生まれが1111万人で最も多く、<sup>ひつじ</sup>未年（1100万人）、<sup>ね</sup>子年（1095万人）などと続いており、<sup>さる</sup>申年生まれは11番目となっています。 (表1，図1)

表1 十二支別人口

十二支	人口 (万人)	総人口に 占める割合 (%)	人口 順位
総数	12683	100.0	—
子(ね)	1095	8.6	3
丑(うし)	1111	8.8	1
寅(とら)	1078	8.5	7
卯(う)	1063	8.4	8
辰(たつ)	1084	8.5	5
巳(み)	1093	8.6	4
午(うま)	1040	8.2	9
未(ひつじ)	1100	8.7	2
申(さる)	991	7.8	11
酉(とり)	952	7.5	12
戌(いぬ)	994	7.8	10
亥(い)	1082	8.5	6

図1 十二支別人口

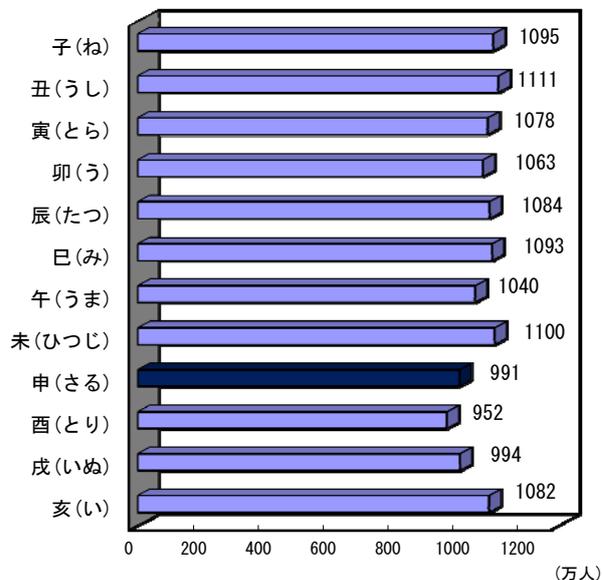


図2 男女、出生年別<sup>さる</sup>申年生まれの人口

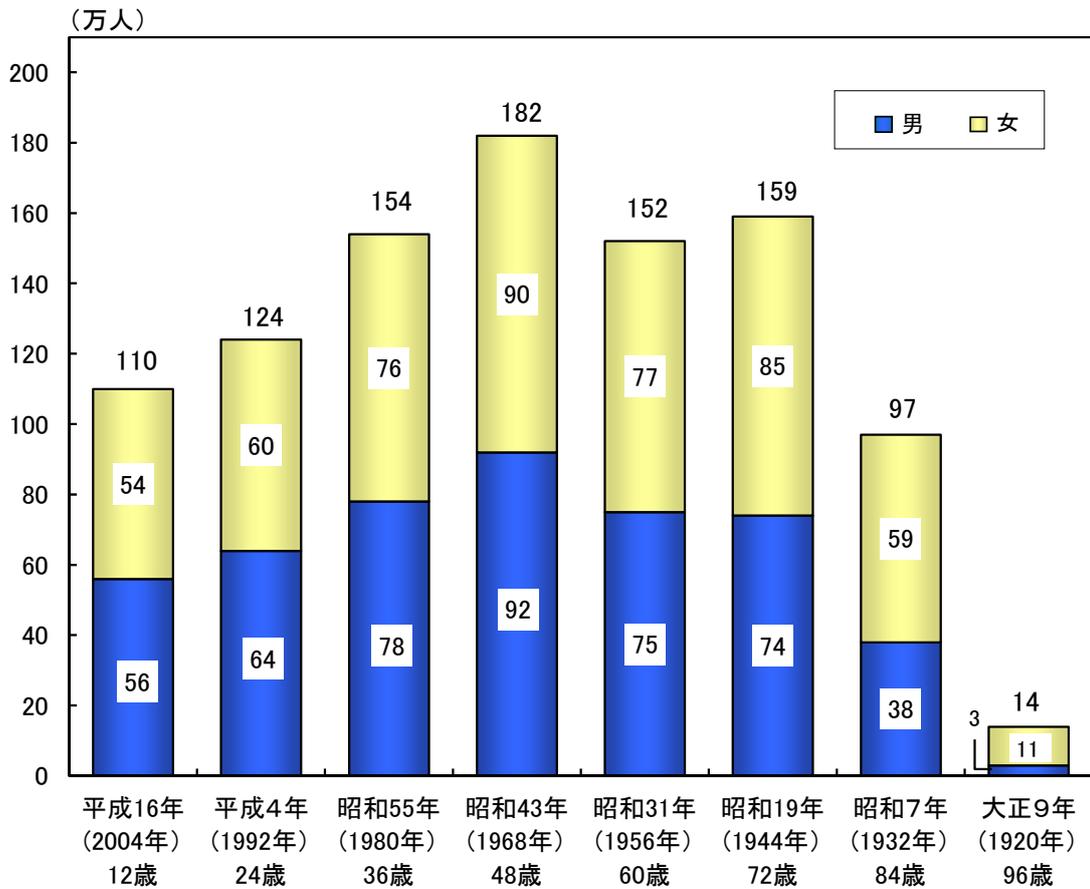


表2 男女、出生年別<sup>さる</sup>申年生まれの人口

生まれた年・年齢		男女計 (万人)	総数に占める割合 (%)	男 (万人)	総数に占める割合 (%)	女 (万人)	総数に占める割合 (%)
総数	—	991	100.0	480	100.0	512	100.0
平成16年 (2004年)	12歳	110	11.1	56	11.7	54	10.5
平成4年 (1992年)	24歳	124	12.5	64	13.3	60	11.7
昭和55年 (1980年)	36歳	154	15.5	78	16.2	76	14.8
昭和43年 (1968年)	48歳	182	18.4	92	19.1	90	17.7
昭和31年 (1956年)	60歳	152	15.3	75	15.7	77	15.0
昭和19年 (1944年)	72歳	159	16.0	74	15.5	85	16.6
昭和7年 (1932年)	84歳	97	9.8	38	7.9	59	11.5
大正9年 (1920年)	96歳	14	1.4	3	0.6	11	2.2

- \* 数値は万人単位に四捨五入してあるので、内訳の合計は必ずしも総数に一致しない。
- \* 割合は表章単位未満を含んだ数値から算出している。
- \* 図及び表中の年齢は、平成28年に誕生日を迎えた時の年齢
- \* 十二支別人口は、1月1日現在の推計のため、平成28年生まれ<sup>さる</sup>の申年の人は含まれない。

## II 新成人人口は121万人

新成人人口は121万人で前年比5万人減  
男性は62万人、女性は59万人

この1年間（平成27年1月～12月）に、新たに成人に達した人口（平成28年1月1日現在20歳の人口）は121万人で、前年と比べると5万人の減少となっています。

男女別にみると、男性は62万人、女性は59万人で、男性が女性より3万人多く、女性100人に対する男性の数（人口性比）は105.1となっています。（表3、図3）

### 新成人人口は再び減少に

新成人人口について、この推計を開始した昭和43年からの推移をみると、第1次ベビーブーム（昭和22年～24年）世代の昭和24年生まれの人が成人に達した45年が246万人で最も多くなった後、減少に転じ、53年には152万人となりました。その後、昭和50年代後半から再び増加傾向を続け、第2次ベビーブーム（昭和46年～49年）世代の人が成人に達した時に200万人台（最多は平成6年207万人）となった後、平成7年に再び減少に転じて以降は減少傾向を続けています。

表3 新成人人口の推移

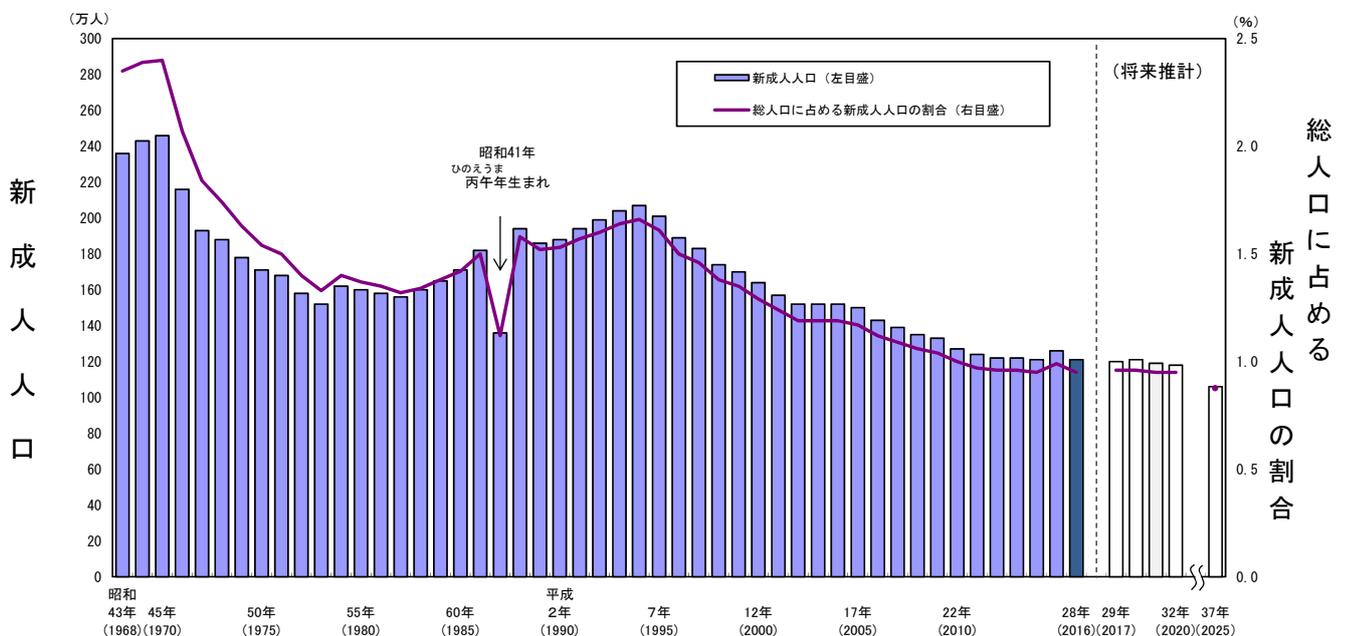
年次（西暦）	新成人人口 （万人）			総人口に 占める 割合（%）	人口性比	年次（西暦）	新成人人口 （万人）			総人口に 占める 割合（%）	人口性比
	男女計	男	女				男女計	男	女		
昭和43年（1968）	236	119	117	2.35	101.6	平成8年（1996）	189	97	92	1.50	105.3
44（1969）	243	123	121	2.39	101.9	9（1997）	183	94	89	1.46	104.7
45（1970）	246	124	123	2.40	101.0	10（1998）	174	89	85	1.38	105.0
46（1971）	216	110	106	2.07	103.9	11（1999）	170	87	83	1.35	105.2
47（1972）	193	98	96	1.84	102.0	12（2000）	164	84	80	1.29	105.4
48（1973）	188	94	94	1.74	100.8	13（2001）	157	81	77	1.24	105.3
49（1974）	178	89	89	1.63	100.6	14（2002）	152	78	74	1.19	104.7
50（1975）	171	87	84	1.54	103.6	15（2003）	152	77	74	1.19	104.7
51（1976）	168	86	83	1.50	103.7	16（2004）	152	78	74	1.19	104.7
52（1977）	158	81	77	1.40	104.5	17（2005）	150	77	73	1.17	104.9
53（1978）	152	77	75	1.33	102.8	18（2006）	143	73	70	1.12	105.0
54（1979）	162	82	80	1.40	103.3	19（2007）	139	72	67	1.09	106.4
55（1980）	160	81	78	1.37	103.9	20（2008）	135	69	66	1.06	105.2
56（1981）	158	81	78	1.35	104.3	21（2009）	133	68	65	1.04	104.9
57（1982）	156	80	76	1.32	104.5	22（2010）	127	65	62	1.00	104.7
58（1983）	160	81	78	1.34	104.2	23（2011）	124	63	61	0.97	104.2
59（1984）	165	84	81	1.38	104.3	24（2012）	122	62	60	0.96	104.9
60（1985）	171	87	83	1.42	104.8	25（2013）	122	63	59	0.96	105.4
61（1986）	182	93	89	1.50	104.2	26（2014）	121	62	59	0.95	105.1
62（1987）	136	70	66	1.12	105.7	27（2015）	126	65	61	0.99	105.5
63（1988）	194	99	95	1.58	103.9	28（2016）	121	62	59	0.95	105.1
64・ 平成元年 （1989）	186	96	91	1.52	105.3						
2（1990）	188	97	92	1.53	105.5	29（2017）	120	61	59	0.96	104.2
3（1991）	194	99	94	1.57	105.4	30（2018）	121	62	59	0.96	104.4
4（1992）	199	101	97	1.60	104.2	31（2019）	119	61	58	0.95	104.4
5（1993）	204	104	99	1.64	105.0	32（2020）	118	61	58	0.95	105.0
6（1994）	207	106	101	1.66	105.0						
7（1995）	201	103	98	1.61	105.6	37（2025）	106	54	52	0.88	104.3

平成28年の新成人人口は121万人、総人口に占める割合は0.95%となり、21年ぶりに増加となった前年と比べ、5万人、0.04ポイント減と再び減少しました。人口、割合共に過去最少だった平成26年とそれぞれ同値となっており、総人口に占める割合は6年連続で1%を割り込んでいます。

なお、国立社会保障・人口問題研究所の推計によると、今後の新成人人口は、微増微減しながら減少傾向で推移し、平成37年には110万人を下回ると見込まれています。

(表3, 図3)

図3 新成人人口及び総人口に占める割合の推移



- \* 昭和43年～平成28年までは「人口推計」(各年1月1日現在)
- \* 平成29年以降は「日本の将来推計人口(平成24年1月推計)」出生(中位)死亡(中位)推計(国立社会保障・人口問題研究所)から作成(各年10月1日現在)
- \* 数値は万人単位に四捨五入してあるので、内訳の合計は必ずしも総数に一致しない。
- \* 割合は表章単位未満を含んだ数値から算出している。

※ 人口推計は、国勢調査による人口を基に、その後の人口動向を他の人口関連資料から得て算出しています。

- ◆ 「人口推計」の詳しい結果を御覧になる場合は、次の URL を参照ください。

<http://www.stat.go.jp/data/jinsui/index.htm>

人口推計

検索

- ◆ このトピックスは、次の URL から御覧になれます。

<http://www.stat.go.jp/data/topics/index.htm>

- ◆ このトピックスに掲載されている解説文、図等の情報を引用・転載する場合には、出典の表記をお願いします。

(例) 「人口推計」(総務省統計局)

**【問合せ先】**



総務省統計局 統計調査部 国勢統計課 人口推計係  
〒162-8668 東京都新宿区若松町19番1号  
TEL : 03(5273)1009  
FAX : 03(5273)1552  
Eメール : c-suikei@soumu.go.jp